

JAAM広報活動について ～広報活動を通じてAMの普及促進～

青木 泉¹

¹理事 (一社) 日本アセットマネジメント協会 (JAAM) 広報委員会 委員長

(株) 日本環境認証機構 事業開発本部 本部長

(〒107 0052 東京都港区赤坂2-2-19アドレスビル)

E-mail: aoki@ja-am.or.jp

アセットマネジメントシステムに関する国際規格ISO 55000シリーズが2014年1月に発行されました。その後、2017年5月に日本アセットマネジメント協会（略称：JAAM）が設立され、ようやく日本におけるアセットマネジメントの推進団体が立ち上がりました。日本におけるアセットマネジメントの普及及びISO 55001認証が展開される動きが出てきています。

広報委員会では、JAAMの広報戦略の策定、ホームページのコンテンツの作成、ホームページの情報管理といった、広報全般に関する活動を行っています。アセットマネジメントに関する最新情報あるいは海外情報の発信源として、アセットマネジメントに取り組んでいる組織あるいは個人に幅広くJAAM活動を理解して頂けるように貢献します。

Key Words : ISO 55000s, asset management, asset management system, public relations

1. はじめに

広報委員会は、HP及びメールマガジンへの各種情報掲載を通じてAM活動の普及を目指しています。

その内容は、一般サイトでのAM技術情報（講演会、セミナーなど）、グローバル情報（ISO/TC 251, GFMAM, IAMなど）、資格検定（CAMA）、および会員サイトでの技術資料（セミナー資料）、各委員会からのお知らせ、会員の交流の場である会員フォーラムを提供しています。

本稿で、上記のAM活動に有益な各種情報について説明し、より一層のAM活動の普及を促進することを期待します。

り」・「登録範囲」・「取得時期」が掲載されています。

日本では、上水道&下水道分野での認証組織数が32組織となっており、日本全体の認証の過半数（68%）を占めています。この状況は、2013年から2014年に国土交通省下水道部がISO 55001の国内普及を目的として、下水道事業におけるアセットマネジメントシステムの導入支援を実施したことから、日本の取組みが開始したことによります。次第に、他のカテゴリ（インフラ、電気）への取組みに拡大してきています。今後は、さらに多くのアセット分野（運輸、空港、製造業など）への認証拡大が期待されます。

表-1 日本におけるカテゴリ別のISO 55001認証組織数

カテゴリ	認証組織数
上水道&下水道	32
公共インフラ	11
電気	4
合計	47

2. ホームページによるAM情報の提供

(1) 国内認証情報

9月末日現在の国内でのISO 55001認証組織数は47組織となっています。その詳細を以下のURLにて掲載しています。

https://www.ja-am.or.jp/iso55000s/certified_org.html

上記にて、「認証取得組織名/事業所名」・「カテゴ

また、認証取得組織の形態について分析すると、表-2に示すように、包括委託およびコンサルティング組織の認証取得は拡大してきていますが、アセットオーナーの認証取得が進んでいません。特に、2017年以降はアセットオーナーの取得件数は0件です。今後は、包括委

託およびコンサルティングの発注元であるアセットオーナーの ISO 55001 への取組みと認証取得が期待されます。

表-2 日本における形態別の ISO 55001 認証組織数

形態	認証組織数
アセットオーナーと包括委託のペア	1
アセットオーナー	7
包括委託	16
コンサルティング	13
合計	47

(2) グローバル認証情報

ISO/TC 251 にて収集しているグローバルでの ISO 55001 認証組織数を、以下の URL にて掲載しています。

<https://committee.iso.org/sites/tc251/social-links/resources/known-certified-organizations.html>

上記にて、世界の各地域における認証組織を分析すると、2018年10月30日現在の地域別の取得組織数は表-3に示す如くなります。

表-3 世界の地域別の ISO 55001 認証組織数

地域	認証組織数
ヨーロッパ	83
アジア	61
アセアニア	28
中東&アフリカ	11
アメリカ	7
合計	190

ISO 55001 の前身規格の PAS 55 (Specification for the optimised management of physical infrastructure assets) を適用してきたヨーロッパの認証組織数がかつとも多い状況ですが、アジアでの認証の普及も急速に拡大しています。なお、PAS 55 は 2015 年 2 月 1 日に廃止されています。従って、今後も PAS 55 認証を取得している組織が ISO 55001 認証に移行し、ヨーロッパでの認証取得組織数が拡大してくることが想定されます。

次に、セクター別の認証組織数について、表-4に示します。ユーティリティ（上水道&下水道、電気）分野の認証組織が最も多くなっています。ファシリティ、インフラストラクチャー、ファシリティ分野が続いています。

表-4 世界のセクター別の ISO 55001 認証組織数

セクター	認証組織数
上水道&下水道	43
電気	40
ファシリティ	22
インフラ	20

石油&ガス	15
港湾&空港	12
エンジニアリング	11
運輸	10
政府・自治体	8
製造業	7
健康サービス	2
合計	190

(3) LINKによるAM情報の提供

LINK 先としては、インフラメンテナンス国民会議、ISO/TC251、KBRC、GFMAM、IAM、Asset Management Council などとなっています。以下に、その概要を示します。

a) インフラメンテナンス国民会議への LINK

インフラメンテナンス国民会議は、以下を目的として、国民会議の趣旨に賛同し活動に意欲のある企業、研究機関、施設管理者、市民団体等が連携するプラットフォームとして運営されています。

- ・革新的技術の発掘と社会実装
- ・企業等の連携の促進
- ・地方自治体への支援
- ・インフラメンテナンスの理念の普及
- ・インフラメンテナンスへの市民参画の推進

得られる AM 情報の例を、以下に示します。

- ・フォーラム、シンポジウムの開催案内
- ・イベント情報（SIP インフラ社会実装促進会議など）

b) ISO/TC 251 への LINK

ISO/TC 251 の LINK は日本語版のトップ画面を準備しています。このサイトでは、「ISO 55001 の概要、重要性、便益など」を説明しています。そして、関連する ISO のページ（ISO.org の TC251 のページ、ISO のジャーナル誌「ISO Focus」、マネジメントシステム規格の「認証」、ISO 規格の開発者）を検索できるように構成しています。

例えば、「ISO.org の TC251 のページ」では、以下に示す AM 情報が掲載されています。

(<https://committee.iso.org/sites/tc251/sociallinks/resources/guidance.html>)

- ・ How ISO 55001 and ISO 41001 work together to improve organizational performance and quality of life
- ・ Why "Alignment" in Asset Management?
- ・ Achieving the UN Sustainable Development Goals
- ・ Managing Assets in the context of Asset Management
- ・ Improving Alignment between Technical and Financial Management within Organizations
- ・ ISO 55001 - Briefing Note

上記の ISO/TC 251 ホームページ（英語版）の資料から

抜粋して、以下に示す日本語のガイダンス記事を公開しています。

(<https://www.ja-am.or.jp/news/2018/1022.html>)

- ・ ISO 55001 と ISO 41001 の連携は組織のパフォーマンスとクオリティオブライフをいかにして改善するか
- ・ なぜアセットマネジメントで「整合」なのか
- ・ 国連の持続可能な開発目標を達成する

また、現在の ISO 55000 シリーズがどのような過程を経て開発されたものであるかなどを知るうえで貴重な情報についても公開しています。(公社)日本下水道協会と執筆者から許可を得て、下水道協会誌より以下の資料を掲載しています

(<https://www.ja-am.or.jp/iso55000s/tc251.html>)

- ・ 2010年 8月_No574_ロンドン予備会合
- ・ 2011年 6月_No584_第1回メルボルン会議
- ・ 2011年 12月_No590_第2回アーリントン会議
- ・ 2012年 5月_No595_第3回プレトリア会議
- ・ 2012年 9月_No599_第4回プラハ会議
- ・ 2013年 7月_No609_第5回カルガリー会議
- ・ 2016年 5月_No643_TC251 第一回横浜会議

c) KBRC への LINK

KBRC (京都ビジネスリサーチセンター) では、アセットマネジメント技術講習会などの各種 AM 講習、セミナー情報を提供しています。

d) GFMAM への LINK

GFMAM は、2010年5月に設立された非営利団体です。メンテナンスとアセットマネジメントコミュニティのリーダーシップを発揮しています。

得られる AM 情報の例を、以下に示します。

(<http://www.gfmam.org/publications.html>)

- ・ Asset Management Landscape
- ・ Auditor Assessor Specification
- ・ Maintenance Framework
- ・ The Value of Asset Management

e) IAM への LINK

IAM は、2004年に設立され、英国に本拠を置く、アセットマネジメントのための国際的な専門機関です。

IAM は、“asset management journey”を進めるためのツールを提供しています。

提供している AM ツールの例を、以下に示します。

(<https://theiam.org/knowledge/>)

- ・ Asset Management - an anatomy
- ・ Subject Specific Guidelines
- ・ Developing and maintaining a Strategic Asset Management Plan (SAMP)
- ・ Asset Management Maturity Scale and Guidance
- ・ Self-Assessment Methodology

f) Asset Management Council への LINK

Asset Management Council は、オーストラリアのアセットマネジメント評議会です。アセットマネジメントに関する情報とガイダンスを提供しています。

得られる AM 情報の例を、以下に示します。

(<http://www.amcouncil.com.au/>)

- ・ The Asset Journal (3月, 6月, 9月, 12月発行)
- ・ Framework for Asset Management
- ・ Asset Management Maturity

(4) 資格検定試験に関する情報

HP では、アセットマネジャー国際資格検定試験 (CAMA 試験) および事前対策講習会に関する情報を案内しています。これまでに、以下の3回の案内を公開しています。

- ・ 第1回 CAMA 試験 (2017年12月27日開催)
- ・ 第2回 CAMA 試験 (2018年6月24日開催)
- ・ 第3回 CAMA 試験 (2019年1月27日開催)

今後も、CAMA 試験及び事前対策講習会の案内および CAMA 試験の結果を公開していきます。AM 業務に携わっている方々の参加を期待しています。

(5) Facebook を活用した情報配信

2018年5月より、JAAM の活動を迅速に公開するために、facebook を開設しました。

最近では、「JAAM の舗装アセットマネジメントシステム (ベトナムでは京都モデルと呼ばれる) の北ベトナム地域への導入の成果 (フェイズ I) の報告と、ベトナム全土への全面的導入 (フェイズ II) のキックオフセミナーが開催されました。」、「ISO55000 シリーズ規格に関する情報 (ISO/TC251 のウェブサイトより)」などが投稿されています。

(6) HP の活用状況

上記の(1)から(5)の広報活動の結果として、JAAM の HP の活用状況を図-1 に示します。2018年10月24日現在の累計アクセス数は、170,730 となっています。

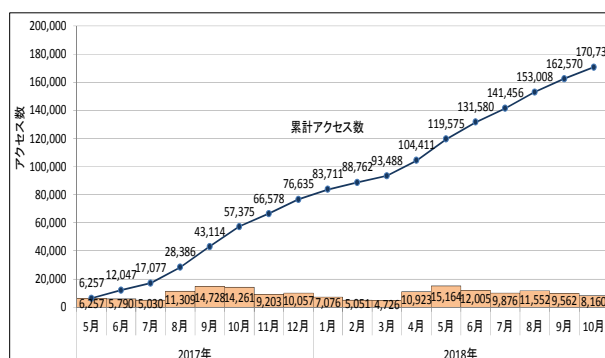


図-1 HPアクセス数の推移

注1)2017年5月のデータは、5/19 (JAAM設立日)～5/31の期間
注2)2018年10月のデータは、10/1～10/24の期間

・GFMAM プロモーションビデオの掲載
GFMAM : Global Forum on Maintenance and Asset Management

3. メールマガジンによるAM情報の提供

メールマガジンの発行は、2017年7月7日配信の第1号をスタートとして、毎月配信(原則8日に配信)してきました。アセットマネジメントに取り組んでいる団体及び個人に役立つ情報を提供してきました。

(1) 2017年7月(第1号)～2018年7月(第13号)の配信内容

a) 小林会長のあいさつ

「JAAM 設立の経緯」に始まり、「ISO の有用性」、「ISO 認証によるガバナンス」、「グローバル人材」、「ISO 型アセットマネジメントが動きはじめた」、「ISO 55000 シリーズとアセットマネジメント」、「ISO 型アセットマネジメント」、「日本型マネジメントと ISO の意義」、「パフォーマンス評価と継続的改善」、「ベンチマーキング評価」、「成熟度評価」、「ロジックモデル」について、説明して頂きました。

b) イベント案内と結果

- ・アセットマネジメント技術講習会
- ・JAAM 設立記念講演会
- ・CAMA 試験及び事前対策講習会
- ・第1回 JAAM 研究発表会
- ・イブニングセミナー
- ・KBRC 主催「アセットマネジメント技術講習会

2018]

c) アセットマネジメントシステム関連情報

- ・JIS Q 55000～55002 の発行予定のお知らせ
- ・ISO 55000 シリーズの改正情報
- ・海外の ISO 55001 認証情報

(2) 2018年8月(第14号)～の配信内容

a) 理事によるアセットマネジメントに関する連載

アセットマネジメントに関連して、JAAM 各理事がそれぞれの専門分野の視点・立場から、連載記事を配信する予定です。まず、第15号では、藤木理事に「規格をビジネスに活かす」を寄稿して頂きました。

b) イベント案内

- ・CAMA 試験及び事前対策講習会
- ・イブニングセミナー
- ・第2回 JAAM 研究発表会

c) アセットマネジメントシステム関連情報

- ・JAAM が JIS Q 55000 シリーズの管理団体となる
- ・ISO 55000 シリーズの改正情報

(4) メールマガジンの活用状況

メールマガジンは、2017年7月7日に第1号を配信して以来、徐々に配信数を増加させてきました。2018年10月24日現在の配信数は707となっています。これは、2018年8月末現在の会員数244(法人正会員:58, 法人準会員:111, 個人正会員:75)の約3倍の配信数となっています。

メールマガジン配信数の推移を図-2に示します。

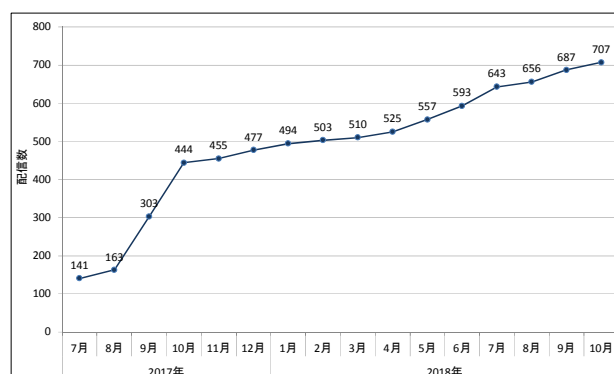


図-2 メールマガジン配信数の推移

4. 会員専用サイトによる双方向のAM情報交換

JAAM会員間の情報交換ツールとして、会員専用サイトを2018年10月から開設しました。会員サイトでの公開情報は、以下の通りです。

(1) 会員向けセミナー・イベントの案内と資料掲載

記念講演会(9月20日に開催)、イブニングセミナー(4月6日に開催)の案内を掲載しています。また、イブニングセミナーの講演資料を一部掲載しています。現在、掲載していますのは、「ISO55000s 世界の最新動向～ISO/TC251 パリ会議(2018年2月)からの“風”～」を掲載しています。

(2) 掲載予定のコンテンツ

会員サイトで年内に掲載予定のコンテンツを以下に示します。

- ・イブニングセミナー会員向け資料
- ・GFMAMの動画
- ・KBRC/AMI(京都ビジネスリサーチセンター)の夏期セミナー資料
- ・会員向けジャーナル

(3) 委員会情報

JAAMの各委員会（7つの委員会と5つの小委員会）の最新情報を掲載していきます。

- ・運営委員会
 - インフラファイナンス普及促進小委員会
 - 情報管理小委員会
 - 成熟度評価小委員会
- ・国際検定委員会
- ・国際委員会
- ・広報委員会
- ・情報委員会
 - アプリケーション小委員会
 - 情報発信小委員会
- ・地域アセットマネジメント推進委員会
- ・教育研修委員会
- ・出版委員会

(4) 会員フォーラム

会員皆様の質疑応答やマッチングなど、閲覧・投稿が可能なフォーラムです。皆様の交流の場としてご利用いただけます。

5. 広範囲な利用方法のご紹介

JAAMのHPは、2018年5月よりパソコンのみでなく、タブレットやスマートフォンからもご利用できる環境を整えています。是非、関係者の皆様にも伝えて頂き、JAAMのHPを活用して、AM情報を検索して頂くようお願いいたします。

スマートフォンで見たJAAMのHPのトップ画面を図-3に示します。



図-3 スマートフォンでのJAAMのHPトップ画面

6. 終わりに

広報委員会は、今後もJAAMのHPを充実させていきますので、AM活動のプラットフォームとして活用して下さることを期待しています。